

がんの予防の推進

成人の喫煙率減少と受動喫煙防止対策の推進

【喫煙率】

	平成19年度	平成22年度	平成25年度	目標(平成29年度)
男性	36.7%	30.3%	31.3%	下げる
女性	14.9%	11.4%	11.5%	

※ 国立がん研究センターがん対策情報センター

◆ 喫煙の健康影響に関する普及啓発

- ◇ 中学生向け喫煙防止リーフレットの増刷・配布
- ◇ 未成年者喫煙防止ポスターコンクールの実施
- ◇ 職場向けCOPD認知度向上動画・ポスター作成・配布

◆ 禁煙希望者への支援

- ◇ 都内ニコチン依存症治療の保険適用医療機関をホームページに掲載
- ◇ 禁煙支援リーフレットの配布

◆ 受動喫煙防止対策の推進

- ◇ 飲食店向け対策 分煙・禁煙店頭表示ステッカー、ハンドブックの配布、実態調査、店頭表示物の作成
- ◇ 都民向け対策 リーフレットの配布、九都県市共同キャンペーンによる広域的な普及啓発、都民の意識調査
- ◇ 職場向け対策 受動喫煙防止対策冊子の配布、研修会の実施

【職場で受動喫煙の機会のある人の割合】

調査年	平成18年	平成20年	平成22年	平成23年	平成25年	目標(H29)
割合	54.4%	54.7%	50.7%	43.7%	38.5%	受動喫煙のない職場の実現

※ 東京都民の健康・栄養状況（受動喫煙の設問がない調査年を除く）

※ 東京都受動喫煙防止対策検討会の実施

平成26年10月より平成27年5月まで計6回にわたり、都の受動喫煙防止対策について、専門的見地から検討するため検討会を設置し、関係10団体からの意見聴取、各委員からの議論をまとめた。

多くの委員から、飲食店等の屋内施設への全面禁煙の導入や条例制定の必要性が述べられたが、委員全体の意見の一致は得られなかった。また、関係団体からのヒアリングでは、多くの団体から喫煙者と非喫煙者の共存できる対策の推進を求める声が出された。

肝炎ウイルスに関する普及啓発及び検査体制の整備

◆ 日本肝炎デー及び肝臓週間における普及啓発

都庁舎内における受検勧奨等パネル展開催、新宿西口「動く歩道南北掲示板」・4号街路柱面ディスプレイへの掲出、広報東京都等への受検勧奨等記事掲載、MXテレビ(TOKYOインフォメーション)・ラジオ(都民ニュース)放送による受検勧奨

◆ 職域向け肝炎ウイルス検査受検勧奨等チラシの作成・配布

区市町村、健康保険組合、東京商工会議所等への配布(74,000か所)

科学的根拠に基づいたがんを遠ざけるための生活習慣に関する取組

図1 1日当たりの野菜の平均摂取量(20歳以上)

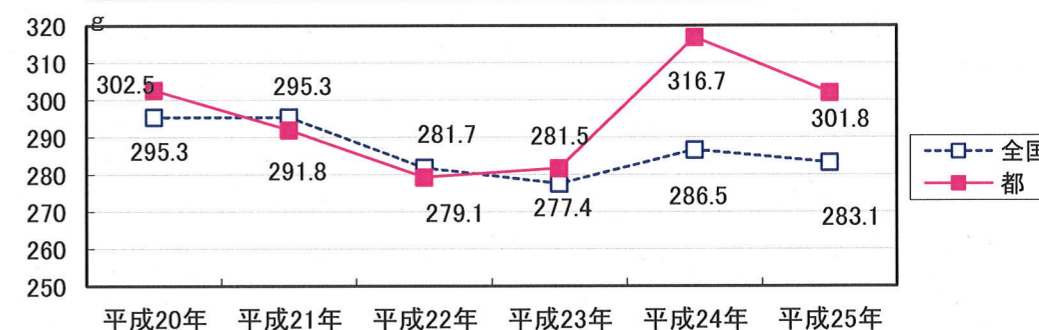


図2 1日当たりの果物の平均摂取量(20歳以上)

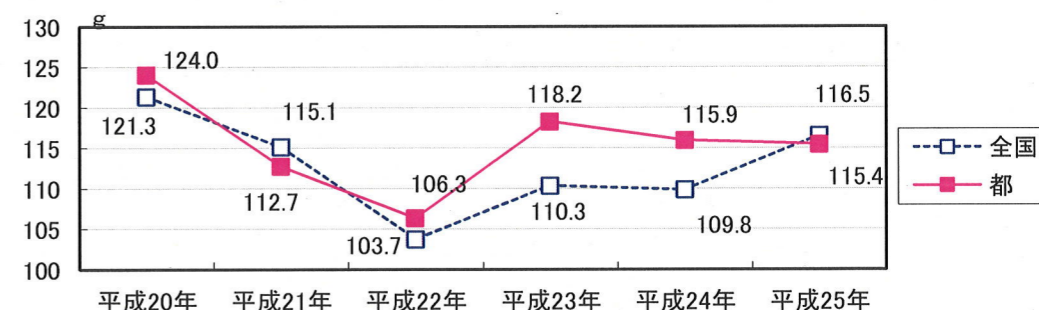
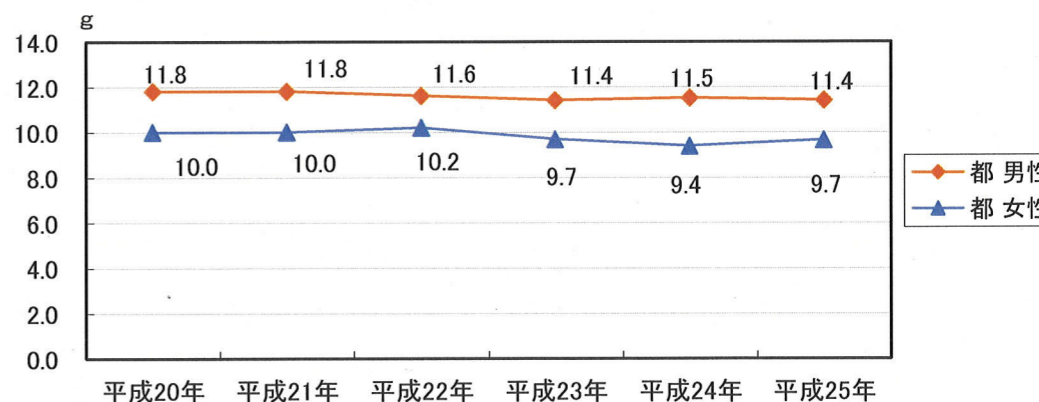


図3 1日当たりの平均食塩平均摂取量(20歳以上)



出典 図1, 2= 都:「東京都民の健康・栄養状況」(東京都福祉保健局) 国:「国民健康・栄養調査」(厚生労働省)  
図3= 「東京都民の健康・栄養状況」(東京都福祉保健局)